

Mother's Newspaper

発行: マザーズコーナー
宮崎市大塚台西 1-1-39
TEL: 0985-62-4141

5名の講師による

私らしい働き方の選択

～私のあたらしい未来を設計する～



マザーズコーナー宮崎では、12月12日、企業の女性管理職、資格取得に向けて頑張っている女性、資格を活かし自宅開業をされた方、好きなことや得意なことで起業をされた方等、5名の女性講師による「私らしい働き方の選択～私の新しい未来を設計する～」のセミナーを開催しました。

35名の方が受講され、皆さんそれぞれの講師が何を悩み、何に迷い、何を乗り越え、「今」があるのか、熱心に耳を傾けていらっしゃいました。その場で「起業」をされる決意を固めた方がいらっしゃったり、とても有意義な時間となりました。

今回は、この日に5名の講師からお話しいただいた内容を広くお伝えしたく、mother's newspaper に掲載することにしました。今、行くべき自分の方向性に迷っている方、夢を見失いかけている方、今後の働き方を模索している方の背中をそっと押してくれるはずです。

Salon・de・Blanc さま

資格取得から10年、自分なりのアロマのレシピを作って教授している。プリザーブドフラワーアレンジメント指導、オーダー製作等。自宅起業のきっかけは自身を取り巻く環境。夫が自営業で夫の手伝いをしながら、認知症の叔母の介護をし、子育てと3本柱。自分が大切にしたいこの3本柱を崩さない働き方、生活や暮らしに歪みが出ない働き方を考えた。自宅起業の利点→ 隙間時間の活用。基本となる暮らしを変えず、仕事もしたい、好きなことも。自分のために使える時間は限られている。順風満帆では決してなく、お金が無く材料を揃えることができない。子育て中のお母さん方（ママ友）とイベントを立ち上げ、少しずつ収入を得て材料を揃えていった。真面目に、地道に、コツコツとやっていたら必ず見てくれる人がある。大切にしたい3本柱を崩さず働くこと、目標があり、心と体が健康であれば、やれるときは必ずくる。目標があればそこに向かって走っている自分がある。泣きたくなるような毎日を過ごすこともあるが、心身の健康を保って目標に向かいましょう。



Luca・chouette さま

自宅ショップから始め、お花の資格を取得した。子育て、家事、プライベートを楽しみ、大切にしながら過ごしている。お店のパートさんは全員主婦。このお店があつてよかったと言って貰えることが嬉しい。家族が元気でいてくれることが力になる。家族やパートさんを大切にしたらご縁もいただく。何年後かにどうなりたいかを考え、自分を大切にすること。前職のキャリアを極めるもよし！全く新しいことに取り組むこともよし！と思う。自分の年齢や健康を知ってONとOFFを使い分けること。自分が自分を幸せにしてくれる。私らしく、自分を大切に働く。今現在、人を雇う側になって気付くこともある。専業主婦だった頃、主婦も子育ても全て初めてで、ハローワークを利用し、求人に応募しても自分で動いてもうまくいかなかった。保育園に預けることも難しく、30代で小さな子どもが居ると面接に至る前に断られたりもした。漠然と若い時から自分のお店を持ちたいという夢はあったが、花の資格や販売職の経験を活かし、なりたいた自分をイメージして行動した。全ては、学び、そして常にアンテナを張り巡らせることが輝ける秘訣かなと思っている。色んな女性を応援出来る様なお店を目指している。従業員にも決められた時間でも固定の時間でもなく、その人にあった働き方を考えていきたい。

森の中のパン工房 Verde さま

10年前に新築を建てることになった、お金は必要だったが外に働きに出る自信がなかった。工務店さんに自宅の中に自宅でパンを作るための工房を作りたいと相談したところ、せっかく工房を作るのであれば販売もしたほうが良いと提案され、背中を押してもらい覚悟を決めた。単純にパンが好きだったため自分で作ったパンを売るなんて考えてもいなかったが、修行に入っていたパン屋さんで学び、イタリアンもハーブも菓子作りも、できる事、学べることに挑戦をした。材料を揃えるためのお金が無かったため、実家が植木屋をしていることもあり、ミニ盆栽を作って道の駅で販売し収入を得た。1日にお客様が1人というときもあり、とても不安で自信がなくなることもあったが、パン作りだけは続けようと心に決めた。今は沢山のお客様に来ていただくようになった。大好きなパンで自分を表現でき有り難い。お店にはもがきながら、悩みながら、一生懸命生きているお客様との出会いがある。1日15時間お店の中に居て合間に子どもたちのご飯、送迎、塾と頑張ってきた。うどんは麺から、カレーはルーから手作りをした。たまにお弁当やケーキに乗ったいちごを食べたときに感じる違和感、舌や喉が刺激をうける感じは全て食品添加物や酸化した油だということを知った。人は18歳になるまで母親の作った料理がエネルギーとなるらしい。手作りは必ず子どもたちの心に残る。行動を起こすことにはとても勇気がいる。でも、「失敗したら…」という不安は想像にしか過ぎない。プラスに考え、苦手なことにも挑戦すれば必ず何か見えてくるものがある。自分が作ったパンで元気になって、前に進む力になってほしい、いつもそう考えながらパンを作りお店をやっている。

Careea up・Careea change



大塚台保育園さま



どんな仕事を選べばよいのかと迷った時、まずは自己分析をすること、自分を見つめ直し、自分を知ってもらいたいと思う。自分がやってきたこと、興味があったことを見つめ直す。辛かったことも、困難も、それをどう乗り越えてきたかを深く掘り下げると不思議と共通のものが見えてくる。前職を退職し専業主婦、16年間のブランクがあったが、今までの経験を活かし前職の事務に復帰した。しかし、ブランクは大きく、仕事に追われている日々だった。自分にしか出来ない働き方はないかと模索していたところ、今の仕事の話をしていただいた。自己分析して、自分にしか出来ない何かが出来るかもしれないと未知の世界へ飛び込み転職した。自分の仕事をキャリアアップしたくて研修に行きたいと職場に申し出た。快く行かせてもらったことで、学んだことは自信へと繋がった。しかし、それは今までやってきた事務の延長にしか過ぎない、もっと自分にしか出来ないものはないかと模索した。保育園は大事なお子様を預かり、安心、安全を提供する。

スキルアップ

津野労務管理事務所さま



特定社会保険労務士の所長と副所長、渉外事務3人、パートの事業所。顧問企業188社、3名の渉外事務が1人あたり30社〜40社を担当している。社会保険の取得喪失等の手続き、算定基礎届け、給与計算、助成金申請など、時に労使紛争解決のために労使から話を聞く。労務士が中心となり補助的な仕事として関わる。最近の労働者も多様化していることから事業主からの相談も受ける。事業所ごとの担当制のため、社会保険関係全ての知識を頭に入れなければならない、入社当時は頭がパンクしそうだった。日々勉強、未だに勉強は続いているが、人と人の架け橋になる、繋がりになる仕事だと思う。自分らしく働くことは簡単ではない。価値観の多様化も目立つようになった。周りの意見もちゃんと聞ける人、こんな考えもあるんだと柔軟になることが大切だと思うようになった。

子どもが大きくなり手から離れていくにつれ、子どもたちは大人になっていくのに自分はこのままでいいのか？私って何なんだろう。子ども達は母親の仕事を聞かれたときになんて答えているんだろうと考えるようになった。

常に責任を負って大変な思いで働いている保育士の先生方の職場環境改善をすることが、安心安全な保育を提供することに繋がると考えた。保育士の先生方のキャリアアップや子育てとの両立を支援して、園の質の向上に繋がっている。今、最も求められている仕事は保育士。大変な仕事だけれど、6年弱の間お子様の成長を見守り、卒園のときにはその成長ぶりに先生方が涙する。やり甲斐のある仕事だと胸を張って仕事に励んでいる。職場環境を整え、無理のないシフト作りをして、看護休暇も遠慮なく取っていただく。参観日や運動会等の行事が重なってもご自分のお子様の方に参加していただく。ご自身の家庭が潤った上で保育の仕事に携わっていただきたい。

①あきらめないで ②こうあるべきだと決めつけないで ③私らしくという3つの言葉を贈りたい。主婦は、母親は、女性はこうあるべきだと自分の可能性を封じ込めないでほしい。私らしく・・・という言葉、ついつい自己中心的になってしまうが、それは強みであり輝きであると思う。子育てとの両立は大変だけれど、得られるものも大きい。「保育士さん切望しています！！」様々なこと、一緒に乗り越えていきましょう。

働き方改革

「カッコ悪い」子どもたちが胸を張って言える様な仕事がしたいと思うようになった。親が活き活きとしていて目標を語るの、子育てにも良い影響がある。自分らしく働くというのは誰かの支えがないと無理だと思う。父親が他界したことを機に実家に戻り母親と暮らし支えてもらった。就職を考えた頃は求人倍率が0.35倍だった。10年のブランクがあり不採用が続いた。HWマザーズコーナーに毎日通った。「有期雇用だけど事務職の経験を積むためにこれに応募してみませんか？」と提案をもらった。採用が決まり、助成金の申請受付等の業務に携わり楽しいと思った。契約期間が終了することもあり、同様の仕事をするにはどうすれば良いかと調べているとき初めて社会保険労務士という仕事を知った。1度目は不採用だったが、どうしても社会保険労務士事務所で働きたくなり再挑戦し、2度目の応募で採用になった。諦めずに自分にプラスになることを得ようと前を向いていたら必ずいいことがあると思っている。

Work・Life・Balance

受講者の声

- ・一歩踏み出す勇気を持つとうと思った。
- ・背中を押して貰えたようでありがたい。
- ・決して諦めないという姿勢に元気づけられた。
- ・自分は何がしたいのかをもう一度考え直すきっかけになった。
- ・元気が出て前向きな気持ちになった。
- ・自分のプラスになるような自分探しをしようと思った。
- ・苦勞して、乗り越えながら前に進んだ結果、今があるんだと勉強になった。
- ・すごく心に響いた。私も困難を乗り越えたい。
- ・チャレンジしないのは自分を狭めてしまうんだなと感じた。
- ・自分の環境を大変と思うのではなく、環境に合った働き方を考えていきたいと思った。
- ・柔軟な考えを持つことで新しい道が開けると感じた。
- ・こうあるべきと自分を封じ込めず、自分らしさを強みと言えるようになった。
- ・自分のために働くというのを忘れてしまっていた。
- ・苦手なことには背を向けがちだけれど、失敗を恐れずチャレンジする精神を持ちたいと感じた。
- ・子育てをしながら自身のステップアップも実現されている話はとても励みになりました。
- ・様々な環境でも強い意志と目標を持たれている方は輝いていらっしやうと思った。

今年度も残りわずかとなりましたが、マザーズコーナーはまだ皆様の再就職をバックアップする企画が目白押しですよ♡

2月19日 面接対策：基本
2月20日 面接対策：応用
2月21日 ビジネスマナー
3月5日～9日 PC講習会

予定

マザーズコーナー宮崎
広報担当：ぶっさ

